

# すわみつえ通信

No.110 2020年2月10日(月)

日本共産党鴻巣市議会議員

諏訪 三津枝



連絡先 鴻巣市赤見台3-2-7  
TEL: 596-9440 FAX: 507-4151  
携帯: 080-5039-2785  
E-mail: mi-suwa@ezweb.ne.jp  
mitsue-suwa@jcom.zaq.ne.jp

WEBで

すわみつえ



ホームページで、すわみつえの政策とお約束をご紹介します。

## 福祉・教育最優先の街づくり 市民の声を生かし いのちとくらしを守る市政に

公民館や市民センターをコースやダンスなど趣味活動で利用されている団体や個人の方に、2月12日～3月19日までの間に「予約システム事前登録」の案内がされています。

広報かがやき1月号でも周知が行われています。パソコンやスマホのインターネット環境から各施設の「空き状況の照会や仮予約」するための事前登録をするよう案内がされて「どうすればいいの?」と思われる方も多いのではないのでしょうか。

「予約システム」は、2009年4月から鴻巣市内の体育施設(総合体育館・コスモスアリーナふきあげ・赤見台近隣公園多目的グラウンドなど)で運用されているものです。

事前に利用者登録・利用者番号の取得申請が必要

### 公民館・市民センターなどの利用申し込みに予約システムを導入

現在の体育施設の予約システムに、4月1日から公民館・市民センター等の施設を追加し、空き状況の照会や仮予約を行う施設予約システムが始まります。



この「予約システム」を2020年4月より公民館などにも運用を拡大していくことになりました。システム改修費として、昨年9月議会で150万7千円の補正予算が組まれました。

### 構成員の名簿提出は必須?

事前登録の申請に際して「団体構成員の名簿」添付となっていますが必須ではないと確認しています。市内在住がまたは市外在住かの確認のためです。

### 予約しやすくなるの? 予約から本予約までの流れ

- 毎月1日から7日の間に2か月後の1か月間について予約できます。  
【例】7月分(7月1日から31日まで)の1か月間の予約は5月の1日から7日の間に行います。
- 8日の午前0時に予約システムが自動的に抽選
- 8日の午前8時30分に利用者メールアドレスに抽選結果が届く
- 8日の午前9時から抽選申込のなかった枠について、一般申込の受付開始(抽選ではなく受付順)
- 8日から21日までの間に窓口で料金支払いをして本予約  
この期間中に本予約が行われなかった場合は、自動的に予約が取り消されます。

### 全県地方議員研修会に参加

2月8日(土)に3月議会対策の一環として、日本共産党中央政策委員会・垣内亮氏の「2020年度国家予算案の特徴と課題」と題した議員研修会で学びました。しっかり学習して、鴻巣市議会定例会予算議会に臨みます。



2月20日(木)に開催される埼玉県中央広域事務組合議会定例会で「住民のいのちを守る救急体制について」を取り上げ、救急搬送の実態と受け入れ先病院の状況を一般質問します。

### 埼玉県中央広域事務組合議会 2月定例会に向けて

★インターネットを使わない方は、今までどおり窓口で職員に申し込みます。職員が代行します。

「市民が共に学びあう、豊かに発展するための社会教育の場としての公民館やコミュニティセンターが、多くの市民が気軽に利用しやすくしていけるようにしましょう。」

社会教育の場として  
多くの方の利用を

毎週朝 駅頭においてホットなニュース「すわみつえ通信」をお届けします。

(月)吹上駅南口 (火)北鴻巣駅東口 (水)北鴻巣駅西口 (木)吹上駅北口 (金)鴻巣駅西口

# 消費税10%が引き金に

## 山形市の老舗百貨店破産

「消費税増税の影響が長引き、12月も前年並みまで回復しなかった」。27日、山形市中心地にある百貨店「大沼」の長沢光洋代表取締役は、自己破産に踏み切った無念さをこう語りました。安倍自公政権が昨年10月に強行した10%増税で、雇用と地域経済への深刻な打撃が早くも表面化しました。

(山形県・佐藤誠二)

大沼は、山形県内唯一の百貨店で創業は江戸時代の1700年。1611年の松坂屋、73年の三越に次ぐ老舗の百貨店でした。

### 全員を解雇に

1993年2月期の年間売上高約193億円が、2019年2月期には4割に満たない約74億円まで減少してしまいました。消費税増税でさらに落ち込み、30億円の負債を抱えて要請しました。

## 社会リポート

しんぶん赤旗 2月1日付

## 雇用・地域に深刻な打撃



自己破産した老舗百貨店大沼。28日、山形市

大沼のある七日町商店街で商店を訪ね、聞いて回りしました。

「店員さんたちはどうなるんでしょう」と近くに住む60代の女性は、大沼の閉め切ったシャッターに貼った自己破産告示を見つめます。「周辺のマンション住民は病院があり、百貨店で食料品の買えるのがこの魅力ね」とい、山形の「華」でした。困る市民が一気に増えそうです」

「安倍政権による消費税増税が引き金となった」と芳賀道也参院議員は力を込めます。「労働者への雇用の支援、関連倒産防止に向けた納入業者への融資やテナント業者への支援、商品券保有者の相談に力を尽くしたい」

中小業者でつくる山形県商工団体連合会の遠藤強会長は「土木工事」は「安倍政権の大増税強行がどれだけ中小企業や地域経済を破壊するのかわからない」と憂える街を守るためには、消費税を今すぐ5%に戻すべきだ」と強調しました。

今すぐ5%に

と困惑気味です。

最盛期には商店街に大沼を含め、ダイエーやジャスコなど八つの大型店があったと話するのは、日本茶専門店「岩淵茶舗」の岩淵正太郎社長です。「中央資本はもうからなくなると撤退したけど、大沼は地元資本です。共存共栄で商売をしてきただけに残念でならない。私は生まれ土地で商いをし、生きていくのが使命です」と語りました。

JCP MOVIE YouTube

ぜひご覧ください！



ゲスト「隠れ共産党宣言」から「入党宣言」へ  
ゲスト 小松泰信さん（岡山大学名誉教授）

QRコード（日本共産党HP）



とことん共産党もご覧ください！



## きょうの潮流

しんぶん赤旗 1月31日付

招いたけど招待はしていない。捨てたけど破棄ではない。答えているけど答弁ではない。これ、なんにでも使えるわー、ついに大喜利が始まった▼募っているけど募集はしていない。「桜を見る会」の問題を連日国会で追及されている安倍首相から飛び出した「迷答弁」。地元の後援会員らを幅広く募っていたと迫る共産党・宮本徹議員の質問に述べたもので、すぐにツイッターなどで盛り上がりました▼すりかえる、ごまかす、しらばっくれる。みずから口にした「説明」をなげすて、不誠実な態度に終始する首相にあきれ、怒る声が改めてひろがっています。このままでは、どこまでも国が落ちぶれると▼きのうの田村智子議員への答弁もそうでした。税金を使った公的行事に支援者を大量に招待し、その事実を隠ぺいする数々の法違反。疑いを晴らすには調べ、資料を示し、真相を明らかにすべき。そうただされても言い逃ればかりの首相に行政を語る資格があるのか▼悪質なマルチ商法で名高い人物を招いたことがさらに被害を拡大させたことにも個人情報や一般論をもちだし、痛みに寄り添おうともしない。いくら国民が納得しなくとも一つでも事実を認めたら命取りと逃げ続ける情けない姿です▼これだけ私物化が公になっても恥じない首相。それを守るため口裏合わせに躍起な政権や官僚。くり返されてきた醜い慣行は政治への不信をまん延させてきました。ツイッターにはこんなやゆも。「日本を壊しているけど破壊はしていない」